

平成28年度第1回鹿児島県地方創生推進有識者懇話会 議事概要

1 開催日時

平成28年8月8日（月） 10:00～12:00

2 開催場所

ベストウェスタン レンブラントホテル鹿児島リゾート
2階「桜島の間」

3 議事概要

(1) 佐々木副知事あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 委員長指名

- ・宮廻委員を委員長に選任

(4) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）に係る事業の効果検証の説明，意見交換（資料2）

(5) 鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき結果（評価指標）」の効果検証に係る説明，意見交換（資料3）

○ 主な意見等

・定住自立圏構想等推進事業

非常に広く議論がまたがる場所であるが、取り組んでいる4圏域はモデルになり得る地域であり、早速議論がなされているということは大変大事である。引き続き活発な議論を期待する。

・男性の子育て参加促進事業

セミナー等で、子育てに対する意識を高める取組は必要である。今後も幅広く参加を呼びかけていただきたい。

実際に男性の子育て参加を促進できるような実効策の検討も今後進められればなお良い。

・多子世帯保育料等軽減事業

多子世帯に対する保育料の負担の軽減は是非続けてほしい。KPIの設定は、もっと高くても良いのではないかと。制度の更なる周知徹底を図るとなお良い。

- ・ ふれあいアイランドの形成推進事業
 今後は、どういふところから鹿児島県の離島に移住してみたいとか、興味を持たれたかという聞き取り等を分析し、活用する取組をするとなふ良い。
- ・ 健やか親子かごしま21推進事業（産後ケア推進事業）
 暮らしやすい鹿児島をアピールするにおいて、特に離島や過疎地域の医療、出産に伴う支援の充実はとても重要である。離島などから鹿児島市内等、本土の方に移った妊産婦の産前産後のケアのニーズは高いと思われる。
- ・ 地域活性化起業家支援事業
 補助を行った事業の具体的な事例を紹介するなど、制度周知にさらに取り組むとなふ良い。
- ・ ヘルスケア・ものづくり交流事業
 KPIは達成していないが、新しい分野での事業で難しいと思われるため、引き続きの取組に期待する。
- ・ 働きたい女性の再就職支援事業
 働きたい女性の再就職支援をすると同時に、受入側である企業側に対しセミナーを開催するなど、双方向の取組も行っていくとなふ良い。
- ・ 水産加工未来チャレンジ事業（水産加工品ブランド化推進事業）
 鹿児島には良いものが多いので、ブランド力を向上し、付加価値を付けて、どんどん売り出していただきたい。
- ・ 農林水産業の成長産業化
 農産物、畜産物の認知度を上げることは非常に大事なことであり、認知度が上がったなら、それがどれだけの経済効果につながったかという視点を入れるとなふ良い。
- ・ がんばる女性農業者育成支援事業
 女性リーダー育成のための取組も重要であり、海外研修等の支援も引き続き実施していただきたい。
- ・ かごしま・英語コミュニケーション能力育成事業
 引き続き、グローバル人材の育成に努めるとともに、英語を教える側の育成について、スキルアップを図っていただきたい。

- ・楠集中高一貫教育校振興事業
KPIについて、入学者数の目標として県外・県内を別ける必要はないのではないか。達成に向けては、生徒確保に向けた、広報戦略の工夫改善に努める必要がある。
- ・「明治日本の産業革命遺産」情報発信アプリ制作連携事業
鹿児島からスタートしていった明治の産業革命遺産が他の地域に及んでいく流れをアプリの開発の中に取り込んでいったらどうか。
- ・かごしま若手経営者育成事業
今後は、離島での講座開催を検討してはどうか。また、農家も異業種交流の中で、色々なヒントを得ることが多くあるので、そういう機会を設けてはどうか。
- ・かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）
認証だけに留まらず、生産から販売まで部局をまたがった連携を図っていただきたい。
- ・観光関連施策の推進
熊本地震の影響に対する支援をきっちり行っていただきたい。
- ・待機児童の解消
潜在的な待機児童まで目を向けた地域支援、子育て支援を行っていただきたい。